

費ヲ以テ維持セシモ猶不足ニ由リ十二年八月更ニ該村遊樂部川渡舟賃幾分ヲ割キ之ヲ補フ十四年十月山越内病院ト改ム

福山病院 渡島國松前郡福山城町ニ在リ明治十一年人民相與ニ謀リ公立病院ヲ設ントス因テ官立病院ヲ廢シ在來ノ建家及藥品器具ヲ下付ス十二年一月開業第三公立病院ト稱ス人民協議費及收入藥價ヲ以テ維持スルモ猶ハ不足ニ由リ該地松城學校學資公債證書二千圓ヲ分チ之ヲ補フ十四年四月福山病院ト改ム

江差病院 渡島國檜山郡江差中歌町ニ在リ明治十一年十二月人民協議公立病院ヲ設ントス因テ官立ヲ廢シ在來ノ建家及藥品器具ヲ下付ス十二年三月開業第四公立病院ト稱ス八月出張所ヲ乙部村ニ設ク

吉岡病院 渡島國松前郡吉岡村ニ在リ明治十二年九月設立第五公立病院ト稱フ藥價協議費ヲ以テ維持ス十四年十月吉岡病院ト改ム

長萬部病院 膽振國山越郡長萬部村ニ在リ明治十二年十一月設置該地舊電信分局ヲ假シ病院ニ充テ第六病院ト名ク維持方組々吉岡病院ニ同シ十四年十月公立長萬部病院ト改稱ス

大野病院 渡島國龜田郡大野村ニ在リ明治十三年四月設置第七公立病院ト稱ス其維持方組々吉岡病院ニ同シ但別ニ地所五萬坪ヲ附屬シ村民共同開墾以テ將來ノ維持ニ備フ十四年十月公立大野病院ト改ム

島牧病院 後志國島牧郡永豐村ニ在リ明治十三年十月村民協議島牧學校ノ半ヲ寄シテ假病院トシ第八公立病院ト稱ス維持方吉岡病院ニ同シ十四年十月島牧病院ト改ム

茅部病院 渡島國茅部郡森村ニ在リ明治十三年十月設立第九公立病院ト稱ス維持方吉岡病院ニ同シ十四年十月茅部病院ト改ム

久遠病院 後志國久遠郡一艘洞村ニ在リ明治十三年十二月設置第十公立病院ト稱ス十四年十月久遠病院ト改ム

上磯病院 渡島國上磯郡上磯村ニアリ明治十四年二月村民釀金病院ヲ設ク第十一公立病院ト稱ス寄附金貸付利子及藥價ヲ以テ維持ス十月改テ上磯病院ト稱ス

茂邊地病院 渡島國上磯郡茂邊地村ニ在リ明治十四年四月村民釀金ヲ以テ設立第十二公立病院ト稱ス維持方上磯病院ニ同シ十月改テ茂邊地病院ト稱ス

志都病院 後志國志都郡渡島町ニアリ明治十四年十一月人民釀金新築志都病院ト稱ス維持方上磯病院ニ同シ

歌樂病院 後志國歌樂郡有戸村ニアリ明治十四年十一月村民釀金新設歌樂病院ト名ク維持方吉岡病院ニ同シ

瀬棚病院 後志國瀬棚郡瀬棚村ニアリ明治十四年十二月從前ノ官立病院ヲ廢シ公立瀬棚病院ト稱ス

根室支廳 公立

釧路第一公立病院 釧路國釧路郡米町ニ在リ明治十二年五月此ヨリ先キ官立病院燒失ニ由リ人民協議

函館縣公立病院施設
患者及病院費出納及所
有品表
二十二年二月北海道廳達已
第十三號ヲ登載スヘシ

函館縣達 二十五年五月二十三日

公私立病院并町村醫施設患者及公立病院所有品ノ儀別表ノ通調整毎年二期自一月至六月
月二十日限り可差出尤モ用紙ノ儀ハ下渡スヘク候條受取方可申出此旨相達候事
但本年一月分ヨリ調整スル儀ト心得ヘシ

病名	至明治		患者	新患者	計	全治	未治	未治	死
	年	月							
熱性病	計								
	男								
呼吸器病	計								
	男								
血行器病	計								
	男								
消化器病	計								
	男								
神經病	計								
	男								
泌尿器病	計								
	男								
皮膚病	計								
	男								

札幌縣公立病院醫師辭令書交付方

十七年四月札幌縣達乙第百一十一號ニ依テ消滅ス
十六年七月札幌縣達乙第百四號ヲ以テ辭令書書式ヲ定ム

札幌縣公立病院醫師辭令書書式
十七年四月札幌縣達乙第百一十一號ニ依テ消滅ス

札幌縣達乙十六年六月十一日
公立病院醫師辭令書之儀ハ是迄郡區役所限リ交付致來候處自今本縣ヨリ回付スヘク候條進退給額増減ノ都度申出候儀ト心得ヘシ此旨相達候事

札幌縣達乙十六年七月三日
本年六月乙第七十四號達ニ據リ公立病院醫師ヘ下付スヘキ辭令書式別紙ノ通相定メ候條爲心得此旨相達候事

新拜辭令

苗字名
公立何病院醫師申付候事
何等月俸金何圓
年月日
札幌縣

増俸辭令

苗字名
公立何病院醫師
何等月俸金何圓給與候事
年月日
札幌縣

罷免辭令

苗字名
公立何病院醫師
滿期ニ付或ハ何何依リ公立何病院醫師差免候事
年月日
札幌縣

札幌縣公立病院醫員備入停止及請給與法

二十年六月北海道廳訓令第四十九號ヲ以テ廢止ス

十七年十二月札幌縣達乙第百九十一號ヲ以テ第三條ヲ改正ス

札幌縣達乙十七年四月二十一日
公立病院醫員備入停止及諸給與法別紙ノ通相定候條此旨相達候事

但明治十四年九月開拓使本廳達丁第七十二號達ハ廢止シ同十六年六月乙第七十四號達及七月乙第百四號達ハ消滅ノ儀ト心得ヘシ
公立病院醫員備入停止及諸給與法

第一章 備入備止ノ事

第一條 郡區町村ニ於テ其公立病院長并院醫調藥員等ヲ備入又ハ備止ヲ爲ストキハ本章ノ條款ニ準據スヘシ

第二條 備入ノ時ハ其郡區町村ノ協議ヲ採リ備者ニ於テ本人ノ性行及ヒ履歷ヲ審査シ其備期限又ハ職名月俸等ヲ査定シ之ヲ郡區長ニ差出スヘシ

第三條 郡區長ハ其備入ヲ相當ナリト見認ルトキハ備者及被備者ヲシテ定約セシメ之ヲ縣廳ニ上申スルモノトス縣廳ニ於テ相當ト認ルトキハ書式ノ辭令ヲ交付ス

第四條 備期限内其勤惰ニ由リテ月俸ヲ増減シ又ハ備止ヲ要スルトキハ郡區長ニ申出ヘシ郡區長ハ之ヲ審査シテ縣廳ニ具申スルモノトス縣廳ニ於テハ増俸并減俸ハ辭令ヲ以テシ備止ハ第五條ノ例ニ從フモノトス

第五條 備止ノ時ハ其理由ヲ詳細郡區長ニ申出ツヘシ郡區長ハ之ヲ審査シ縣廳ニ具申スルモノトス縣廳ニ於テハ解職ノ辭令ヲ交付スヘシ

第六條 郡區町村ニ於テ院長并院醫等其人ヲ得難キ時ハ被備者ノ職名及月俸又ハ定約ノ方法ヲ豫定シ郡區長ヲ經申出ヘシ縣廳ニ於テハ相當ノ者ヲ撰ヒ之カ備入ノ便宜ヲ與フヘシ

第二章 月俸ノ事

第七條 月俸ハ罷免病死等ノ場合ヲ除キ毎月末日ヲ以テ支給スルヲ例トス其支給ハ病院ニ於テスルト

戸長役場ニ於テスルトハ該郡區町村ノ便宜ニ任スヘシ
 第八條 月俸ハ傭入傭止等辭令交付ノ日ヲ推シテ之ヲ給スルモノトス
 第九條 歸省其他私事ノ旅行等關勤日數ハ月俸五分ノ一日割ヲ以テ之ヲ給シ忌引中ハ全額ヲ給スルモノトス
 第十條 病氣引籠三十日迄ハ全額ヲ給シ爾後三十日迄ハ三分ノ一其餘三十日迄ハ五分ノ一其後ハ給セサルモノトス
 第十一條 院長ノ月俸ハ三十圓以上院醫ハ同シク三十圓以下調藥生ハ同シク十五圓以下該町村ノ便宜定ムル所ニ任スヘシ

第三章 旅費ノ事

第十二條 旅費ハ旅行一切ノ費用トシテ表面ノ日當ヲ給スヘシ
 第十三條 陸路ハ一日十里詰又海路渡海ニアラサハ其里數六町九分七釐五毛陸路ニ直シ之ヲ給スヘシ
 但十里以上ノ端里數六里以上ハ一日分一里以上六里未滿ハ半日分ヲ給シ一里未滿ハ切捨トス
 第十四條 片道三里以上六里未滿ノ旅費ハ日歸一泊ノ別ナク往返ニテ並旅行日當一日分ヲ給シ片道三里未滿ハ日歸ナレハ日當ヲ給セス一泊スレハ往返ニテ滞在日當一日分ヲ給スヘシ
 第十五條 出張滞在中指懸病用アリテ猶派出スレハ滞在ノ地ヨリ起算シテ第十三條及第十四條ニ據リ旅費ヲ給シ又ハ給セサルヘシ
 第十六條 滞在日當ハ他方出張著翌日ヨリ給スヘシ
 但自己ノ便宜ヲ以テ日積ヨリ早著延著スルトモ本條ニ據リ又川支雪支等ニテ延滞スレハ其所戸長役場ノ證書ヲ指出ストキハ滞在日當ヲ給スヘシ
 第十七條 行旅中病氣ニ罹リ病用ヲ果サス半途歸院スルカ或ハ療養ノ爲メ滞在スルモノハ其所戸長役場ノ證書ヲ差出スニ於テハ其里程ヲ算シ旅費ヲ給シ又ハ滞在日當ヲ給スヘシ

第十八條 新ニ傭入ノ者ハ就職旅費ヲ給シ滿期傭止ノ者ハ其傭入ノ時居合セタル地迄ノ旅費ヲ給スヘシ
 但功勞ニ依リ本籍迄ノ旅費ヲ給スルハ該町村ノ適宜ニ任ス
 第十九條 傭止ノ者其日ヨリ三十日以内ニ出發セサルモノハ前條ノ旅費ヲ給スル限リニ在ラス
 但被傭中死去スルモノハ手當トシテ約定面ノ旅費ヲ給スヘシ
 第二十條 輕罪以上ノ主刑ヲ受ケ爲メニ傭止ヲ爲スモノハ旅費ヲ給セサルモノトス
 第二十一條 傳染病流行病豫防及種痘等ノ爲メ出張巡回セシムルトキハ一般ノ旅費定則ニ據リ表面ノ旅費日當ヲ縣廳ヨリ支給スヘシ

旅費日當表

歸就	國職	並	旅	行	滞	在
金	一圓九十錢	金	一	圓	金	四十五錢

定約書式 (用紙證券界紙)

札幌縣何國郡區何町村戸長總代ハ何公立病院ノ爲ニ何縣國郡身分何誰ヲ傭入院長 調藥員ト爲スニ據リ左ノ條件ヲ約ス
 第 條 傭者ハ被傭者ニ約スルニ月俸何圓ヲ以テシ速カニ辭令書交付ノ手續ヲ爲ヘシ
 但辭令書交付ノ日迄約定面ノ月俸額ヲ日割ヲ以テ給スルモノトス
 第 條 傭者ハ被傭者ノ滿期解職ノ時ニ於テ當所傭入ノ地何所迄ノ旅費金何圓錢ヲ給スヘシ
 第 條 被傭者ハ此定約ヲ承諾シ凡テノ規則ニ從フハ勿論辭令書受領ノ日ヨリ滿月年月間ハ必ス就職スヘシ
 第 條 被傭者若シ定約ヲ踏マス又ハ規則ニ違ヒ自分ヨリ解職申立ツル歟或ハ職務ヲ怠ルカ其他不品行ノ所行アリテ傭止メテ爲ス時ハ一切旅費ヲ給セサルモノトス

第一條 滿期ニ至リ尙備繼ヲ爲ス時ハ二箇月前協議ヲ遂クヘシ
 第二條 前條條定約ヲ爲スト雖モ郡區町村ノ都合ニ據リ備止ヲ爲ス時ハ此定約書ハ廢紙トス
 右ヲ證スル爲メ二通ヲ作り各一通ヲ所持ス

年月日

備者 何 誰印
 備者 何 誰印
 被備者 何 誰印

新拜命辭令

增俸辭令

罷免辭令

苗字名	公立何病院 <small>院長 副院長 醫員</small>	月俸金何圓	年月日	札幌縣
-----	-----------------------------------	-------	-----	-----

苗字名	公立何病院 <small>院長 副院長 醫員</small>	月俸金何圓給與候事	年月日	札幌縣
-----	-----------------------------------	-----------	-----	-----

苗字名	公立何病院 <small>院長 副院長 醫員</small>	條約滿期 或ハ何何何差免候 何ニ付何何何事	年月日	札幌縣
-----	-----------------------------------	--------------------------	-----	-----

函館縣病院補助費配賦規則

函館縣布達 十七年十一月二十七日 第三十六號

二十年五月北海道廳令第五十七號ヲ以テ廢止ス

函館縣公立病院規則及職員職制并月俸旅費給與規則ヲ定ム
二十年六月北海道廳訓令第四拾九號ヲ以テ廢止ス

病院補助費配賦規則別紙ノ通相定メ本年十二月ヨリ施行候條此旨布達候事

第一條 病院補助費ハ専ラ病院ノ經濟ヲ補助スル爲メ配賦スルモノナレハ左ノ費用ノ外他ノ費用ニ流用スルヲ得ス

職員俸給 職員旅費

第二條 補助費配賦ノ期ハ毎年一月四月七月十月ノ四季トシ郡役所ヘ配賦ス

第三條 病院補助費ハ土地ノ情況ヲ察シ可成丈ケ維持ニ堪ヘス資力ニ乏シキ病院ヲ補助ス

但人家稀疎ナル僻村ニハ特別補助ヲ與フコトアルヘシ

第四條 郡役所ニ於テ補助費ノ遣拂ハ毎年兩度七月一月之レヲ縣令ニ具申ス

函館縣達 十七年十一月二十七日 郡役所 局長 役場 公立病院

公立病院規則及職員職制并月俸旅費給與規則別紙ノ通相定本年十二月ヨリ施行候條此旨相達候事

(別紙) 公立病院規則

第一條 本院ハ内外患者ヲ診察治療ス

第二條 院內ニハ醫局藥局事務局ヲ置キ諸務ヲ分掌ス

第三條 貸座敷所在ノ地ニテ驅棧院無之地方ノ病院ニ於テハ貸座敷及娼妓營業規則ニヨリ棧毒検査ヲ爲ス

第四條 昇降時限ハ午前九時參院午後三時退院トス

但日ノ長短ニヨリ伸縮スルヲ得

第五條 年中休暇左ノ如シ

一月一日ヨリ一月三日マテ 紀元節 神武天皇祭 天長節 札幌神社祭

春季皇靈祭 秋季皇靈祭 神嘗祭 新嘗祭 日曜日
 十二月二十九日ヨリ十二月三十一日マテ
 第六條 外來患者ハ第四條ノ時限ニ診察ス
 但急患者ハ此限ニアラス

第七條 患者中歩行困難ナル者ハ往診ス

第八條 外來患者藥價及入院患者藥價賄料等ハ郡區長定ムル處ニ據テ之レヲ徵收ス

第九條 入院治療ヲ請フ者ハ該地ニ住居シ相當ノ資産ヲ有スル者ヲ以テ保證人トナシ入院中ノ費用ヲ辨償スヘキ證書ヲ出サシム

但本文證書ヘハ戸長ノ認印ヲ受クヘシ

第十條 病院ニ關スル細則ハ郡區長之ヲ定メ縣令ノ認可ヲ得ルノ後施行ス

公立病院職員職制

院長

一 院長ハ院務ヲ總理シ内外患者ヲ診察シ及ヒ職員ヲ統率シ之レカ勤怠ヲ察シ其黜陟ハ郡區長ニ申報スルヲ得

醫員

一 院長ノ指揮ヲ受ケ内外患者ノ治療ニ從事シ及ヒ醫事ニ係ル一切ノ筆記ヲ掌ル

二 院長闕席ノトキハ首座ノ醫員其代理スルヲ得

司藥

一 院長ノ指揮ヲ受ケ配劑又ハ製藥ニ從事ス

書記

一 書記ハ院長ノ指揮ヲ受ケ常務會計ヲ掌ル

公立病院職員俸額及月俸旅費給與規則

第一條 公立病院職員ノ俸給ヲ定ムル左ノ如シ

職員	長	一等醫員	二等醫員	司藥	書記
月俸	百五十圓以下	五十圓以下	二十五圓以下	二十圓以下	三十圓以下
月俸	三十圓以上	二十圓以上	八圓以上	六圓以上	六圓以上

第二條 公立病院職員ノ月俸及旅費ハ都テ該病院資金或ハ協議費又ハ補助費ノ内ヲ以テ支給スルモノトス

第三條 月俸ハ毎月末之ヲ支給スルモノトス
 但聘任若クハ免職死去等ノ節ハ此限ニ非ス

第四條 新ニ採用ノモノ及ヒ在勤替増給減給ノ節ハ其月ノ端日數ハ日割ヲ以テ之ヲ支給ス

第五條 歸省及歸省中養痾其他私事ニヨリ出勤セサル日數ハ月俸五分ノ一ノ割合ヲ以テ之ヲ支給ス

第六條 賜暇中ノ旅行及ヒ忌引中ハ月俸ノ全額ヲ給シ病氣引籠リ三十日間ハ全額ヲ給シ其後ハ三分ノ一ヲ給ス

第七條 第五條第六條減給ノ場合ニ於テハ總テ日割ヲ以テ給スヘシ

〔計算法 歸省ハ出立ノ日ヨリ減給病氣ハ引籠ノ日ヨリ起算月ノ大小ヲ以テ三十日前後ヲ區分スヘシ〕

第八條 滿一箇年以上一病院ニ勤續セシ者解職在勤替若クハ死去等ノ節ハ其奉職年數ニ應シ滿一年ニ付月俸半額ヲ給ス

第九條 解職ノモノ其日ヨリ三十日以内ニ歸郷申シ出ルモノハ一日十里詰ノ割ヲ以テ金一圓九十錢最
 初採用セシ地迄ノ里數ヲ算シテ支給ス

但一病院滿二箇年以内ニ自己ノ都合ヲ以テ辭職スルモノハ之ヲ給セスト雖モ官廳又ハ病院ノ都合
 ナテ解職スル者ハ之ヲ給ス

第十條 旅費ハ一日十里詰ヲ以テ表面ノ通り之ヲ給ス

旅費日當		並旅行	赴任旅行	晝夜急行	滯在	本縣管内	同留上
一圓五十錢	一圓九十錢	一圓九十錢	一圓九十錢	五十錢	一圓	四十五錢	

第十一條 前條條ヲ除クノ外ハ一般ノ月俸及ヒ旅費規則ニ依リ之ヲ支給ス

札幌縣達 乙十七年十二月十一日 縣區役所 戶長 役場

本年四月乙第一百十一號達公立病院醫員備入備止及諸給與法第一章第三條左ノ通改正ス

第三條 郡區長ハ其備入ヲ相當ナリト認ルトキハ備者及被備者ヲシテ定約セシメ其定約書寫及被備者履歷書醫術開業免狀寫共各一通ヲ添ヘ之ヲ縣廳ニ上申スルモノトス縣廳ニ於テ相當ト認ルトキハ書式ノ辭令ヲ交付ス

右相達候事

北海道廳達 乙二十年二月十六日 第三號 郡區役所

公立病院入院外來患者及種痘ノ員數收支金額等別表ニ據リ本年一月ヨリ每四季ニ調製一月四月七月十月二十五日限リ差出スヘシ

但季表用紙ハ當廳第一部ヨリ送付スヘシ

右相達ス

(別紙)

病院 季 表

自明治何年何月 至明治何年何月

北海道何何國何何區何何郡何何病院

札幌縣公立病院醫員備入備止及諸給與法第三條ヲ改正ス
二十年六月北海道廳訓令第四十九號ニ依テ消滅ス

北海道廳公立病院患者及種痘ノ員數收支金額表

前ヨリ越 高	收 入 之 部	種 痘 兒	來 外 院 入												支 出 之 部	醫員月俸									
			外						院 入																
			助 救		人國外		人國內		助 救		人國外		人國內				患者總數	舊患者	新患者	全 治	未治退院 及辭療院	未 治	死 亡		
			女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男										女	男
初	種	善 感	不 善 感	善 感	不 善 感	初	種	善 感	不 善 感	善 感	不 善 感	再	三	種	初	種	善 感	不 善 感	善 感	不 善 感	再	三	種		
		內 國 人				外 國 人																			

事記	引差	計合	何	何	何	家	入院賄料	藥價	税金加息	補助金	寄附金	協議集金
			何	何	何	賃						
本季ハ何病流行ニ付入院又ハ外來患者ノ員數増加等ノ景狀ヲ附記スルモノトス	金積	計合	何	患者賄料	需用費	營繕費	諸給料	器具買入	藥品買入	宿直賄料	事務員月俸	旅費
			何	何								
	金現在											

北海道廳布令 第三十號 第四月十二日

町村立病院職員旅費日當左表ノ通相定其支給方ハ内國旅費規則ニ據リ本年四月一日ヨリ施行ス

源車賃	源船賃	管外車馬賃	管内車馬賃	管外日當	管内日當
一哩毎ニ	一海里毎ニ	一里毎ニ	十四月ヨリ三十一月ヨリ	金五十錢	金五十錢
金四錢	金四錢	金六錢	金九錢	金十二錢	金五十錢

北海道廳町村立病院補助金配賦規則

北海道廳令 第五十七號 二十五年五月二十五日

町村立病院ノ經濟ヲ補助スル爲メ補助金配賦規則ヲ定ムルコト左ノ如シ但明治十七年十一月一函館縣甲第三十六號布達ヲ廢ス

町村立病院補助金配賦規則

- 第一條 補助ノ金額ハ毎年度ノ始ニ於テ之ヲ告示スヘシ
- 第二條 補助金ハ毎年二期四月所轄郡區役所ニ配付ス
- 第三條 補助金ハ醫院俸給ノ外他ニ支消スルコトヲ得ス
- 第四條 補助金ノ遣拂ハ毎年度末ニ於テ其人員金額ヲ統計シ郡區長ヨリ之ヲ長官ニ報告スヘシ

北海道廳令 第六十三號 二十六年六月二日

町村立病院職員俸給左表ノ通相定メ其支給法ハ明治十九年十當廳丙第十五號達ニ準據ス

職	員	院	長	醫	員	藥劑	員
月	俸	三十圓	乃至	五十圓	乃至	六十圓	乃至
		百圓		十圓		十圓	

北海道廳訓令 第四十七號 郡區役所

町村立病院職員ハ土地ノ狀況ニ依リ其幾分ヲ闕クコトヲ得ヘシ

北海道廳訓令 第四十八號 郡區役所

町村立病院藥價入院料診察調劑及患者待遇ニ關スル細則ハ實務ノ簡便ヲ圖リ郡區長ニ於テ相定届出ヘシ

北海道廳町村立病院藥價入院料等ニ關スル細則定方

北海道廳町村立病院職員土地ノ狀況ニ依リ其幾分ヲ闕クヲ得

北海道廳町村立病院職員俸給表 二十六年六月二日 第七十二號ヲ發スヘシ

北海道廳町村立病院職員備入備止手續

二十年六月北海道廳訓令第七十二號ヲ參照スヘシ

北海道廳訓令 第四十九號 郡區役所

町村立病院職員備入備止手續左ノ通定ム

但明治十七年^四月札幌縣乙第百一十一號達同年^月十一函館縣乙第六十一號達ハ廢止ス

町村立病院職員備入備止規則

第一條 町村立病院職員ヲ備入レントスルトキハ郡區長ニ於テ被備者ノ性行及履歷ヲ審査シ其備期限及ヒ俸額ヲ定メ該履歷書ヲ添ヘ(院長職員ハ醫術開業免狀寫共辭令ノ交付ヲ長官ニ上申スルモノトス

第二條 備期限中増俸セントスルトキハ其俸額ヲ記シ辭令ノ交付ヲ長官ニ上申スルモノトス

第三條 滿期解備ノトキハ其旨長官ニ開申スヘシ

滿期更ニ備繼ヲ要スルトキハ其備期限及ヒ俸額ヲ定メ之ヲ長官ニ開申スヘシ

第四條 備期限中備止ヲ要スルトキハ其理由ヲ具シ長官ノ指揮ヲ乞フヘシ

北海道廳訓令 第七十二號 郡區役所

北海道廳町村立病院職員

等ノ名稱ヲ改ム

明治二十年^六月北海道廳令第六十三號ヲ以テ町村立病院職員俸給相定メ候ニ付テハ從前ノ一等醫二等醫ハ醫員司藥調藥員ハ藥劑員トス此旨町村立病院ヘ示達スヘシ

明治二十四年四月廿二日印刷

內閣記錄局編輯

